

# 女王蜂の導入方法

俵養蜂場養蜂参考資料ライブラリーNo.9

## はじめに

初心者の失敗例では、既に処女王が存在している群へ導入してしまうケースが最も多い。また「働蜂産卵」状態を解消する目的で別の群の女王を導入しようとする人もあるが、産卵中の働蜂がいるような群では成功は覚束ない。

トラブルを生じた蜂群の問題解決に利用するのではなく、正常群を新たに分割して受け入れ群に仕向けていただきたい。

## 導入を成功させるために

### 1. 到着した女王の手当て。

女王蜂は通常ベントン式の輸送用王籠で送られてくるが、まずその無事を確認する。

10匹ほど入れてあるエスコートビー（付添いの働き蜂）の生存率もチェックする。

1～2匹以内の死亡数であれば輸送中の環境（特に温度）はおおむね許容範囲内であったと言えるが、多数死亡している場合は途中大きなストレスが掛かったものとして扱い、即座に導入準備に入ったほうがよい。低温よりも高温によるダメージが大きいため、女王蜂が届いてから導入までの間、できるだけ適温（16～19℃）に保っておく。

ベントン式王籠には粉砂糖と液糖などで練った「キャンディー」が「弁当」として入れられているが、長旅で乾燥気味のことが多いので1～2滴水分を補給してやるとよい。

### 2. 受け入れ群の準備。

受け入れのための無王群の用意は女王蜂の到着前後でよい。

群の「割出し」であれ、元の女王を淘汰するのであれ、あまり早くから準備しない。

警戒蜂の日齢に達していない若い内役蜂中心の群を作ることがポイントで、早くから群を分けると働蜂の老化が進み、逆に新女王の受け入れが難しくなる。

流蜜していれば、巣内に充満する蜜の匂いによって警戒はゆるみ、受け入れが早まる。同じ理屈で匂いの錯覚を起こさせることもできる。

例えば前女王を淘汰しようとする場合、その死骸を導入王籠の金網部分に擦り付けておくと匂いが新女王に移り、早く解放できるようになる。

また人工的な香料などを巣箱内に撒いておくことも効果がある。

いずれの場合も3枚程度までの弱勢群のほうが良い。

女王のいる群（元群）から攻撃性の無い若い内役蜂だけを分け出し、外役蜂・警戒蜂を除外するような工夫が望まれる。

つまり分割する巣箱（割り出し群）は元の位置には置かないようにする。

無蜜期には導入前に糖液を与えておくとさらに攻撃性が弱まる。

導入予定の女王の数が多くて何日も前から準備にかからなければならない場合は、導入時に王台を残らず除去しておく必要がある。隅にある王台や小さいものは見逃しがちなので、1枚ずつ巣脾の蜂をふるい落として確認したほうがよい。

### 3. 導入の方法

普通は王籠の金網部分を下にして巣枠間の空隙部分の上に置けばよい。

ただし、夜間の冷え込みが予想されるような季節、直射日光で王籠内の温度が上昇する恐れのあるような場所では巣脾と巣脾の間、その中心部に挟みこむような工夫が要る。

### 4. 女王の解放

解放可能な日時を特定することは様々な条件が関係するので難しい。

解放を早める要素として、流蜜していること、好天であること、群が性質温和であること、若蜂で構成されているなどがあるが、その反対は解放を遅らせる要因になる。

通常3〜4日目で解放できるが、その前に群の蜂が網に噛り付いているような様子がないことを確認しなければいけない。(5日以上籠内の女王に攻撃性を示すときは、もう一度処女王の存在を疑った方がよい。)

群が新女王を完全に受け入れたときは籠をほぼ無視するようになっている。こうなれば100%安心してリリースすることができるが、この時女王は腹部が軽くなっているので飛ぶことができる。空中に逃がさないように要注意。

ベントン式王籠には両端に小孔があり、片側は蜂を入れるための孔となっている。

もう一方はキャンディで塞がっているが、遮蔽物を取り去れば籠の外側、導入群の蜂からのアクセスが可能になる。つまり両側からキャンディを喰い進むうちにトンネルが開通して両者が出会って自然に新女王の解放を達成できるようになっている。

この方法なら開放すると言う手間がひとつ省けるし、意外に成功率も高い。

輸送中にキャンディーが大半消費されている場合は、粉砂糖を少量の水で練って金網越しに擦り込んで増量しておくとうよい。

### 5. 解放後の注意

導入に成功したかに見えても、しばらくは群の中での女王の地位はまだ不安定であって、はっきりと産卵が確認できるまでの数日間は無用な内検はしない方がよい。

翅切りなどのために女王蜂を掴むと、後日、再び無王状態になっていることがある。

早く強勢群に仕上げたい場合は出房直前の育児巣脾を他の群から与えてやればよい。

ただし蜂数に応じて一枚ずつ増やして行くべきで、あせって何枚も追加しないこと。

季節によって異なるが、繁殖のシーズンであれば40日ぐらいでほぼ蜂が入れ替わる。